

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		老人保健医療等事務			20年度予算コード	27	整理番号	146	枝番号			
担当部課名	保健福祉部国保年金課		コード	090510	昨年度 整理番号	319						
係名	高齢者医療係		連絡先 電話番号	1283								
上位施策名		No	23	生涯を通じた健康づくりの支援								
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	58 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td>政策番号</td> <td>施策番号</td> <td>事業コード</td> </tr> </table>		政策番号	施策番号	事業コード			
	政策番号	施策番号	事業コード									
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 老人保険制度 = 健康保険に加入する75歳以上の者 老人医療費助成制度 = 健康保険加入の65～69歳の者		(1) 老人保健法 (2) 老人の医療費の助成に関する条例・規則 (3) 老人性白内障特殊眼鏡等助成要綱								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	・医療証等の交付 ・老人保健医療に係る審査及び支払事務		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 対象者が安心して医療を受けられる環境を確保する。								
活動指標名(式)	(1) 老人保健制度・老人医療費助成制度受給者数 (2) 老人保健特別会計の医療費支払額		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 老人保健制度受給者1人あたりの年間医療費 (2)									
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する19年度 の達成率%	/			
	活動指標(1)	人	51,006	45,395	48,999	50,646						
	活動指標(2)	千円	38,541,126	38,079,645	36,508,063	3,588,774						
	成果指標(1)	円	770,899	855,987	774,702	778,500	782,314	99.0				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	72,876	80,388	66,632	23,682	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)					
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0						
	(内) 委託費	千円	59,970	61,355	55,953	16,874						
	職員数 (常勤   非常勤)	人	7.84	5.00	5.05	3.00						
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	71,030	45,700	46,157	27,420					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0					
	総事業費 + +	千円	143,906	126,088	112,789	51,102						
	単位あたりコスト( - )÷	円	2,821	2,778	2,302	1,009						
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都等からの支出金	千円	16,384	20,264	10,124	20					
特定財源計 +		千円	16,384	20,264	10,124	20						
差引: 一般財源 -		千円	127,522	105,824	102,665	51,082						
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0							
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)							
	老人保健医療等事務及び医療費助成事務		49,063	人	66,607							
	老人白内障特殊眼鏡等用助成		1	件	25							
	その他 ( )				0							

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 146 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	107.9	活動指標(2)の 19年度達成率%	95.9	19年度予算 執行率%	82.9
		なし					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		医療費の適正化を進めるため、重複・頻回受診者に対し、保健士等による訪問保健指導を実施した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	70歳以上の高齢者を対象とする老人保健法による医療制度の開始後、急速な高齢化の進展に伴い、平成14年度に対象年齢を75歳以上に引き上げる等の制度改正を行った。更に18年10月に一定以上所得者の一部負担金が3割となる改正を行った。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	制度が複雑で分かりにくい。					
	今後の予測	平成20年4月から後期高齢者医療制度が開始し、老人保健と異なり、独立した保険制度となった。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	理由: 制度を適切に運営し、高齢者が安心して受けられる医療制度を確保した。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ )	理由または具体的内容: 医療制度改革に伴い、平成20年4月から独立した医療制度である後期高齢者医療制度が始まった。					
	成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 老人保健は杉並区が実施主体であったが、平成20年4月から東京都後期高齢者医療広域連合が保険者となった。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 法律・都条例により受益者負担の割合を定めていることから、新たに負担を設ける余地はない。					
(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 後期高齢者医療制度の保険者は広域連合なので、スケールメリットを活かし、コスト削減ができる。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ )	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 診療報酬請求に係る審査及び支払事務					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 老人保健制度から後期高齢者医療制度へのスムーズな移行と新制度の周知徹底を進めていく。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input checked="" type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	後期高齢者医療制度に移行し、老人保健制度での事務処理は、20年3月までの処理となる為。

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区民に対する一般健康相談			20年度予算コード	002	整理番号	390	枝番号	
担当部課名	各保健センター		コード	164700	昨年度 整理番号	476				
係名	和泉保健センター業務係		連絡先 電話番号	4508						
上位施策名		No	23		生涯を通じた健康づくりの支援					
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード					
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 健康相談・感染症に関する検査を希望する区民・在勤者、生活機能評価を希望する区民、腸内細菌検査・きょう虫卵検査を希望する区民・在勤者・在学者		(1) 地域保健法 (2) 老人保健法 (3) 杉並区立保健センター条例						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	来所者の健康に関する相談を受け、必要な検査を行い、結果に基づいて個別に説明・指導する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 個々の健康状態にあった指導・サービスの提供・紹介により、健康不安の解消・健康の保持増進・生活習慣の改善などができる。						
	活動指標名(式)	(1) 来所人数(延) (2) 実施回数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 来所人数(対前年比) (2)						
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	/	
	活動指標(1)	人	1,042	850	957	850	850	112.6		
	活動指標(2)	回	121	120	120	120	120	100.0		
	成果指標(1)	%	117	100	109	100	100	108.9		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	18,053	21,277	20,710	22,786	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円								
	(内) 委託費	千円	1,573	1,848	3,111	2,685				
	職員数(常勤   非常勤)	人	1.87   0.47	1.81   0.52	1.28   0.55	1.27   0.56				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	16,942	16,543	11,699	11,608			
		非常勤職員分	千円	1,330	1,440	1,524	1,551			
	総事業費 + +	千円	36,325	39,260	33,933	35,945				
	単位あたりコスト( - )÷	円	34,861	46,188	35,458	42,288				
	財源	受益者負担分	千円	3,115	3,765	4,787	3,765			
		国・都等からの支出金	千円	1,682	1,682					
特定財源計 +		千円	4,797	5,447	4,787	3,765				
差引: 一般財源 -		千円	31,528	33,813	29,146	32,180				
受益者負担比率 ÷	%	8.6	9.6	14.1	10.5					
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	各種健診パートタイマー報酬		29	人	9,061					
	検体収集員パートタイマー報酬		29	人	2,480					
	医師及び看護師謝礼金				5,500					
	その他 ( )				3,669					

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 390 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	112.6	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	97.3
		他より低廉で検査ができるため、保健センター間でバラツキはあるものの一定の需要がある。従来小規模事業所健診を受診していた個人事業主等が健康相談を利用するなど小規模事業所健診の縮小の影響がある。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		特定健診が20年度から開始されることにともない、事業の見直しを行い、19年度末をもって、小規模事業所健診を終了し事業の整理を図った。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	健康相談として、各保健センター週1回の体制で開始したが、平成11年より各保健センター月2回となった。1回の相談者が数人から20人と保健センターによって幅がある。 平成18年4月から、介護予防法の改正による介護予防のための生活機能評価を、区民健康診査の受診対象とならない65歳以上の区民等を対象に開始した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	相談者の話を充分聞いているので、満足度が高い。 休日又は平日夜間の健康相談を希望する区民が増えている。					
	今後の予測	第二診断(セカンドオピニオン)を求めたり、相談内容も複雑化、専門化の傾向にある。 新たなニーズに対応した、事業実施体制を検討する必要性が生じてきている。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 中(理由 )	理由: 相談内容に応じた適切な検査や指導を行うことにより、健康不安の解消・健康の保持増進・生活習慣の改善を図ることで、区民の健康水準の向上に寄与している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 組織権限等の見直し(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 健康相談のPRを更に強めていく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 検査費用については、条例に基づきすでに受診者に応分の費用負担をしてもらっている。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [執行体制改善(組織統廃合、簡素化)]	理由または具体的内容: 保健センター間の役割分担などを検討し、検査機材の有効活用を検討する必要がある。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 血液検査については、今後も委託を継続する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 事業所健診(事務事業評価 475)の事業縮小(小規模事業所健診の終了)により、保健センターにおける検査件数の減少が見込まれ、その結果、健康相談者一人当たりにかかる検査コストの上昇が予測される。そのため、レントゲン装置などの保健センター設置の検査設備について、従来どおり5所の保健センターに均一に設置し、均一な区民サービスを維持する必要があるか検討し、検査設備等の集約化及び保健センター別の役割分担が可能であるか検討していく。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	在勤者の検査をともなう健康相談は、終了する。また、上井草、和泉保健センターでは、レントゲン撮影や各種検査を行わない方向で検討し、古い検査設備について有効利用を図る。

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保健センター健康講座		20年度予算コード	014	整理番号	393	枝番号		
担当部課名	杉並保健所健康推進課		コード	150401	昨年度 整理番号	472				
係名	健康推進係		連絡先 電話番号	4524						
上位施策名		No	23	生涯を通じた健康づくりの支援						
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 健康増進に関心のある区民		(1) 健康増進法 (2) 地域保健法 (3) 老人保健法						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	個人の健康づくりや疾病予防の講座を開催する。また、健康管理に役立てるため、健康診査等の記録を記載する健康手帳を30歳以上の区民に交付する。40歳以上の保健指導が必要な者に対し、心身の機能低下・向上のため訪問指導を行っている。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民が疾病予防や健康づくりの正しい情報を選択し、それらを実践することにより主体的な健康づくりが行われ、健康度が向上する。						
	活動指標名(式)	(1) 各種教室への参加延べ人数 (2) 訪問指導延べ件数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 教室に参加して有意義と感じた区民の割合 (2) 自分は健康だと感じている区民の割合						
区分		単位	18年度		19年度		20年度	目標値	目標値に対する19年度の達成率%	
			実績		計画		計画	22年度		
指標	活動指標(1)		人	2,744	3,000	1,777	1,500	1,500	118.5	
	活動指標(2)		件	36	50	56	50	50	112.0	
	成果指標(1)		%	92	90	91	90	90	101.1	
	成果指標(2)		%	82		81	85	85	95.1	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,292	9,857	5,618	3,053	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円							
	(内) 委託費		千円	317	501	470	511			
	職員数(常勤   非常勤)		人	7.05   0.52	6.81   0.27	5.77   0.15	5.77   0.15			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	63,873	62,243	52,738			52,738
		非常勤職員分		千円	1,472	748	416			416
	総事業費 + +		千円	71,637	72,848	58,772	56,207			
	単位あたりコスト( - )÷		円	26,107	24,283	33,074	37,471			
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円	1,795	1,971	1,971			1,900
特定財源計 +		千円	1,795	1,971	1,971	1,900				
差引: 一般財源 -		千円	69,842	70,877	56,801	54,307				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)	
		健康増進教室(子ども健康教室・フォローアップ教室・生活習慣改善教室・年代別教室)の実施					1,582	人	2,298	
		糖尿病予防自己管理支援モデル事業の実施					195	人	1,638	
		健康手帳の配布					4,737	部	1,213	
		訪問指導の実施					56	人	469	
		その他 ( )							0	

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 393 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	59.2	活動指標(2)の 19年度達成率%	112.0	19年度予算 執行率%	57.0
		健康手帳の交付条件が老人保健法の廃止により変更になり、印刷冊数が少なくなった。糖尿病予防自己管理支援モデル事業の参加者数が見込み数より少なかった。特定保健指導モデル事業を保健センターでも行う予定であったが、計画変更され事業実施がなくなった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		メタボリックシンドローム予防のポピュレーション事業として、杉並ウエストサイズ物語チャレンジャー支援講座として生活習慣改善教室を行った。 平成20年度からは、メタボリックシンドロームに関する講座は、杉並ウエストサイズ物語に事業を集約し実施する。 19年度で糖尿病予防自己管理支援モデル事業は終了し、生活習慣改善教室に吸収した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	個人の疾病予防・健康増進から健康を支える仕組みづくりなど広く講座を行ってきたが、メタボリックシンドロームを含む生活習慣病予防に関するウエイトが高まってきた。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	平日の昼間では参加できないため参加日時を工夫してほしい。講座開催期間中は生活習慣に注意するが終了後の継続が難しい。などの意見が上がっている。					
	今後の予測	メタボリックシンドローム予防に関する健康情報の提供や指導に関する要望は今後ますます高まると予想される。反面、メタボリックシンドローム以外の生活習慣病予防や運動習慣の定着、喫煙、歯科保健、女性の健康づくりなど、今後、総合的な健康力の向上が必要とされる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:健康寿命の延伸にむけ、一人ひとりが自らの健康を考え実践していくための健康増進教室開催や健康手帳の配布、訪問指導による機能向上は生涯を通じた健康づくり支援に大きく貢献している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:働く人たちも教室に参加できる日時や若い世代が興味を持つ内容等を工夫し、対象者の拡大を図る。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:すでに受益者負担を導入している。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:すでに最低限のコストで実施している。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 教室企画運営にあたっては、健康づくり自主グループ等の意見や協力を得て実施している。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 社会の変化やライフスタイルが複雑になることで健康課題がさまざまに変化し、新たな対象者へのアプローチが必要になってくる。様々なニーズに対応するためには、区民自らが健康に取り組んでいくとともに、健康を家庭・地域全体で支援していく必要がある。地域の健康づくりを進めるためには、核となる人材の発掘・育成が必要である。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 核となる人材の発掘・育成のために退職世代や女性の積極的な参加を促すような講座の企画等を進める。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 今後、女性の健康支援のためのイベントや講座の必要性が考えられるが、現状の予算の中で検討し、実施したい。		

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		がん検診				20年度予算コード	16	整理番号	395	枝番号			
担当部課名	杉並保健所 健康推進課		コード	150401		昨年度 整理番号	466						
係名	健康推進係		連絡先 電話番号	4524									
上位施策名		No	23		生涯を通じた健康づくりの支援								
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		51 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	1	施策番号	事業コード	4
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規				<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等							
	職場等に検診機会のない区民(対象年齢20歳以上2年に1回の受診…子宮がん、40歳以上2年に1回の受診…乳がん、30歳以上…大腸がん、35歳以上)					(1) 胃集団検診実施要領、肺がん検診実施要領、喉頭がん検診実施要領 (2) 子宮がん検診実施要領、乳がん検診実施要領、大腸がん検診実施要領、 (3) 前立腺がん補助金交付要綱、がん精度管理委員会設置要綱							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)	杉並区医師会または区内医療機関及び中野区医師会に委託して、申込制(子宮がん及び乳がん検診は受診後の登録制)により、がん健診を実施している。				事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 早期にがんを発見するとともに、検診により区民の健康意識を高める。また、将来的に75歳以下のがんによる死亡率を減少させる。							
活動指標名(式)	(1) がん検診受診者数 (2) 精密検査受診率				成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) がん発見数(がん及びがんの疑いを含む) (2) (代)人口10万人当たりのがんによる死亡者数								
区分		単位	18年度		19年度		20年度	目標値	目標値に対する19年度の達成率%				
			実績		計画		計画	22年度					
指標	活動指標(1)		人	120,233	126,590	125,165	130,000	151,810	82.4				
	活動指標(2)		%	16.7	16.5	12.5	17.0	20.0	62.5				
	成果指標(1)		人	127	210	125	200	270	46.3				
	成果指標(2)		人	241	240	242	240	235	102.9				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	353,108	373,550	364,995	466,908	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)					
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0						
	(内) 委託費		千円	337,074	352,751	353,603	445,232						
	職員数(常勤 非常勤)		人	2.88   0.20	2.42   0.50	2.78   0.50	2.80   0.50	<19年度受診者数> 胃がん検診 エックス線検査 3,754人 ペプシノゲン検査 9,961人 子宮がん検診 9,070人 乳がん検診 7,561人 肺がん検診 1,569人 喉頭がん検診 694人 大腸がん検診 91,052人 前立腺がん検診 1,504人 計125,165人  <がん発見数 がんの疑い発見数> 胃がん 8人 子宮がん 4人・22人 乳がん 19人・11人 肺がん 1人・0人 喉頭がん 0人・0人 大腸がん 40人・20人 計125人  <人口10万人当たりのがんによる死亡者数 全国> 17年度258人 18年度261人 19年度275人					
	人件費		千円	26,093	22,119	25,409	25,592						
	非常勤職員分		千円	566	1,385	1,385	1,385						
	総事業費 ++		千円	379,767	397,054	391,789	493,885						
	単位あたりコスト(-)÷		円	3,159	3,137	3,130	3,799						
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0						0
特定財源計 +		千円	0	0	0	0							
差引:一般財源 -		千円	379,767	397,054	391,789	493,885							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0							
19年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)				
		大腸がん検診					91,052	人	127,255				
		乳がん検診					7,561	人	90,337				
		子宮がん検診					9,070	人	76,959				
		胃がん検診					13,715	人	39,190				
		その他 (肺がん検診・前立腺がん検診・その他)					3,767	人	31,254				

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 395 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	98.9	活動指標(2)の 19年度達成率%	75.8	19年度予算 執行率%	97.7

前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	20年度から特定健診の開始に伴い、区民健診と同時に実施していた大腸がん検診を、特定健診を受診できなくなった社会保険の被扶養者等が大腸がん検診だけを受診できるように、単独による実施を検討し、20年度から実施することにした。 区民健診と同時に実施していたペプシノーゲン検査を廃止し、エックス線間接撮影による胃がん検診に統合した。					
---	---	--	--	--	--	--

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	H10 子宮・乳がん検診 登録制度開始、H11 胃がん検診 検診車の廃止、H12 胃がん検診 血清ペプシノーゲン検査開始、喉頭がん検診 対象年齢を引き上げ、H13子宮がん検診 都がん検診を区検診に一本化、子宮・乳がん検診 実施期間を6月～翌年3月に延長、H14 がん検診を一部有料化、子宮・乳がん検診 通年実施 H15 肺がん検診 実施期間3ヶ月間に延長、H16子宮がん検診 対象年齢を20歳以上に引上げ、乳がん検診 対象年齢を40歳以上偶数歳で隔年実施(18年度から2年に1回の受診) H17子宮がん検診 2年に1回の受診 前立腺がん検診開始				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	近隣区でも受診できるようにしてほしい。				
	今後の予測	区民のがん予防への関心の高まりにより、今後益々受診者数が増加すると思われる。特定健診・特定保健指導の開始により、がん検診の実施用法のあり方についても、再検討が必要である。				

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 区民のがん予防への関心の向上及び健康への自己管理意識を高める効果がある。また、将来的には、がんの早期発見や予防意識の向上を図ることにより、75歳以下のがんによる死亡率を減少させることができる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 広報・チラシ等で健診の目的や検査方法等の周知に伴い、検診と医療との違いも周知し、適正な検診を行なう。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 一部自己負担制を導入していないがん検診には、一部自己負担制を導入する。また全てのがん検診の自己負担率の見直しを行なう。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 健診システムの導入により、受診票の発行事務、統集計等の事務量の減およびパートの人件費の削減ができる。				

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ )	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)			
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )	全てのがん検診について検診の受診管理等の事務を除き、検診(検査を含む)業務を医療機関に委託している。			

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 委託先である医師会と効果的な検診のあり方及び精度管理のあり方について協議を行う。(精度管理委員会) 委託料や事務処理経費の削減のため、都内他自治体と共通の検診方法を導入することも視野に入れて検討していく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 本事業の遂行に関しては、杉並区医師会の理解と協力が不可欠である。 検診と医療の混同又は自己負担額の差額(検診の方が少ない)ことをもって、身体に異常があるときいつでも受けれる制度にしてほしいといった要望・苦情が増えている。検診の趣旨を十分にPRしていくとともに、適正な受益者負担を導入し、保険診療との自己負担額の差額を是正していく必要がある。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	20年度から特定健診が開始され、前立腺がん・大腸がん検診の単独実施を開始した。21年度も20年度に引き続き単独のがん検診を実施するため、予算の大きな変更はない。



# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区民健康診査			20年度予算コード	17	整理番号	396	枝番号				
担当部課名	杉並保健所 健康推進課		コード	150401	昨年度 整理番号	467							
係名	健康推進係		連絡先 電話番号	4524									
上位施策名		No	23		生涯を通じた健康づくりの支援								
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	1	施策番号	事業コード	0
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等 (1) 老人保健法第12条、16条、20条 (2) 老人保健法による保健事業の実施について (3) 杉並区区民健康診査等実施要領							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	杉並区医師会及び区内個別医療機関、隣接区市(中野・練馬・世田谷・三鷹)医師会に委託して対象者の健診を実施。平成17年から65歳のみ全員に受診票を送付し、他は登録制により送付。40、45、50、55、60歳の国保加入者と住民税非課税者に勧奨通知を送付。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 生活習慣病予防対策の一環として、糖尿病などの疾患あるいはリスクを持つもの の早期発見を図る。 定期的に健診を受けることにより、かかりつけ医を持ち、健康管理に関する正しい 知識を伝え、生涯にわたって実践できる健康な生活習慣の獲得を動機づける。							
	活動指標名(式)	(1) 受診者数 (2) 異常所見者数(要指導者数+要医療者数)				成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) 受診率 = 受診者数 ÷ (対象人口 × 対象人口率) (2) 異常所見率(異常所見者数 ÷ 受診者数)							
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する19年度 の達成率%					
	活動指標(1)	人	93,207	97,600	97,480	80,000	117,900	82.7					
	活動指標(2)	人	78,946	78,080	83,077	70,000	94,300	88.1					
	成果指標(1)	%	74.0	77.0	75.8	80	89	85.2					
成果指標(2)	%	85.0	80.0	85.0	80	80	106.3						
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,617,416	1,732,415	1,688,241	309,516	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)						
	(内) 投資的経費等	千円											
	(内) 委託費	千円	1,589,520	1,709,532	1,660,750	301,933							
	職員数(常勤 非常勤)	人	2.25   0.80	2.09   1.00	1.89   1.00	2.00   1.00	老人保健法に基づく対象人口率(都区部) 16~17年度 43.8% 18~19年度 35.1%						
	人件費	千円	20,385	19,103	17,275	18,280	平成20年4月から特定健診が開始し、社会保険 の被扶養者が区民健康診査の対象から外れたた め、受診者数が減少する。20年度の見込みは、 成人健診……約8,000人 特定健診……約50,000人 長寿健診……約28,000人						
	非常勤職員分	千円	2,264	2,770	2,770	2,770							
	総事業費 ++	千円	1,640,065	1,754,288	1,708,286	330,566							
	単位あたりコスト( - )÷	円	17,596	17,974	17,524	4,132							
	財源	受益者負担分	千円					<20年度予算> 特定健診(40歳~74歳)は、国保会計に計上。 644,611千円。 長寿健診(75歳以上)は、国保年金課に計上。 委託契約金額 61,932千円。  <国・都からの補助金> ・40~74歳は特定健診のため、0円。 ・40~74歳の生活保護受給者は、対象だが少 額。					
		国・都等からの支出金	千円	546,041	555,995	577,815	0						
特定財源計 +		千円	546,041	555,995	577,815	0							
差引:一般財源 -		千円	1,094,024	1,198,293	1,130,471	330,566							
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0								
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)								
	区民健康診査委託料		97,480	人	1,660,750								
	受診票送付経費		131,420	件	16,972								
	受診票印刷経費等				6,144								
	パートタイマー報酬		687	人	4,210								
その他 (保険料等)				165									

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 396 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	99.9	活動指標(2)の 19年度達成率%	106.4	19年度予算 執行率%	97.5
		・執行率は、受診者数の減による。(予算98,550人、実績97,480人)。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成20年度4月から実施の「特定検診・特定保健指導」にむけて、準備を進めた。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	当初、老人保健法で対象の40歳～60歳までを成人健診、60歳以上を老人健診として実施。昭和61年に成人の対象年齢を35歳以上、平成2年から30歳以上に引き下げた。平成8年から登録制を一部実施。平成15年から成人・高年を統一して区民健康診査として実施。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	受診期間経過後の受診を希望する区民が増えている。 医療と定期健康診査を混同した意見が寄せられることがある。					
	今後の予測	特定検診が20年4月から始まり、40歳から74歳の場合、杉並区国民健康保険加入者以外は医療保険者が健康診査を実施することになったため、受診対象者が大幅に減少する。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 区民の健康に対する関心の高まり、疾病の予防、早期発見・早期治療に貢献している。さらに、健診後のフォローを充実させ、生活習慣改善・食生活習慣改善を図ることで、施策への貢献度は大きくなる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ )	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 健診項目を見直し、疾病の早期発見早期治療につなげ、健診後の生活習慣改善、食生活習慣の改善につなげる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 区民健診は無料だが、20年度から「胸部エックス線」「大腸がん検診」に、一部自己負担金を導入した。					
(4) コストを下げる余地はあるか ある [OA化] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 総合的な健診システムを導入することにより、事務処理の効率化が図れる。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ )	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )	委託機関との定期的な打ち合わせ会と設定し、常に問題提起しながら区民により有益な事業展開ができるようにする。					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 特定健診の開始に伴い、基本検査項目や受診票が全国共通のものになったが、区独自の追加検査項目の見直し等を図る。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 ・20年度から特定健診の開始に伴い、社会保険の被扶養者等は区から医療保険者に健診の実施者が変更になり、19年度に比べて20年度は減少する。 ・21年度は20年度と比較すると大きな変更はない。成人健診・特定健診・長寿健診をあわせた合計額は増減はない。ただし特定健診・長寿健診は医療者として国保年金課に計上される。	

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		成人歯科健康診査		20年度予算コード	018	整理番号	397	枝番号			
担当部課名	杉並保健所健康推進課		コード	150401		昨年度 整理番号	482				
係名	健康推進係		連絡先 電話番号	4524							
上位施策名		No	23		生涯を通じた健康づくりの支援						
事務事業の概要	事業開始年度 ○昭和 ●平成		13年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	(1)	施策番号	事業コード	1
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 該当年度に40,50,60,70歳になる在住区民		(1) 老人保健法第12条 (2) 杉並区成人歯科健康診査実施要綱 (3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区歯科医師会に委託し、歯科医療機関で歯周疾患検診を含む歯科健診と歯科保健指導を行なう。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 健診と保健指導を通じて、歯科疾患の発生と重症化を防ぐ。また、定期健診のきっかけをつくることで、かかりつけ歯科医の普及を図る。						
	活動指標名(式)		(1) 健診受診者数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 健診受診率 (2) 重症歯周疾患有病者率						
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画		20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%			
	活動指標(1)	人	2,948	2,963	3,485	6,400	7,600	45.9			
	活動指標(2)	人									
	成果指標(1)	%	12	12	12	11	15	80.0			
成果指標(2)	%	57	55	59	55	25	236.0				
総事業費・コスト把握	事業費	千円	22,160	21,526	25,963	54,036	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円									
	(内) 委託費	千円	19,268	18,131	22,778	49,350					
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.45   0.00	0.53   0.00	0.65   0.00	0.65   0.00					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,077	4,844	5,941	5,941				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0				
	総事業費 ++	千円	26,237	26,370	31,904	59,977					
	単位あたりコスト( - )÷	円	8,900	8,900	9,155	9,371					
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	1,350				
		国・都等からの支出金	千円	4,925	3,075	12,758	13,000				
特定財源計 +		千円	4,925	3,075	12,758	14,350					
差引: 一般財源 -		千円	21,312	23,295	19,146	45,627					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	2.3						
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)						
	委託料		3,485	件	22,778						
	郵送料		29,357	件	2,151						
	受診券印刷及び消耗品				873						
	パートタイマー報酬		26	人	161						
	その他 ( )				0						

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 397 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	117.6	活動指標(2)の 19年度達成率%	19年度予算 執行率%	120.6
		想定受診率を上回る受診があった。				
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		健診の効果を評価するため健診後調査を行った結果、歯周疾患予防のためにはより早期からの健康診査が効果的であることが明らかになった。そのため、平成20年度より対象年齢を引き下げ、拡大する。また、予防の意識の低い若い世代の受診率向上のために「歯のクリーニング」を実施する。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	16年4月に法規が改正され、新たに70歳の区民を対象に含めることになった。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	具体的な歯周疾患予防方法を含む健康教育や保健指導への期待、最新の知見を得る場としても期待されている。また、対象年齢外の区民から健診機会を望む声も寄せられている。歯科医師会からも同様に対象年齢の拡大を望む意見がある。				
	今後の予測	団塊の世代が対象年齢に入ってくることによって、受診者の増加が見込まれる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 健診を通じて、疾病の早期発見・早期治療及び発症、重症化の予防、また、かかりつけ歯科医の推進を図り、生涯を通じた健康づくりに貢献している。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 健診精度の維持向上及びかかりつけ歯科医の推進を図るため、定期的・継続的な事業検討を区歯科医師会と行う。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 受益者に負担を求めるものではない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 健診単価は国の基準であり、必要最低限の経費で実施している。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ )	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 区歯科医師会と協議し、事業説明会を開催することで実施医療機関に本事業の主旨の徹底と検診精度の向上を図っている。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 歯周疾患予防対策をより効率的に進めていくためには、まだ重症化している割合の少ない30歳からを対象に加えることが必要である。また、受診率向上のため、実施内容の検討も必要である。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区歯科医師会との継続的な協議検討が必要。	
	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 歯周疾患発症、重症化予防のために効果的な年齢を含めることにより、健診効果の向上を図る。

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		生活習慣病予防対策(ウエストサイズ物語) 20年度予算コード			020	整理番号	399	枝番号					
担当部課名	健康推進課	コード	150401		昨年度 整理番号	456-2,457.459.469							
係名	健康推進係	連絡先 電話番号	4524										
上位施策名		No	23		生涯を通じた健康づくりの支援								
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	18年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	2	政策番号	(1)	施策番号		事業コード	5
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			<input type="checkbox"/> 行革計画事業			<input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他			根拠法令等								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	腹囲減少チャレンジャーへの支援及び内臓脂肪症候群予防の普及啓発、「ヘルシーメニュー推奨店」を認証し喫食者の健康に配慮する飲食店を区内に増やす。				(1) 健康増進法 (2) ヘルシーメニュー推奨店実施要綱 (3) 杉並区保健医療センター条例							
	活動指標名(式)	(1) 杉並ウエストサイズ物語チャレンジャーの参加者数 (2) ヘルシーメニュー推奨店の取り組み数				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 内臓脂肪の減少に向けて健康的な生活習慣に取組む区民を増やし生活習慣病の罹患割合の減少を図る。							
										成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標			
										(1) 区民健診において40歳～65歳のメタボリックシンドローム該当者及び予備軍の男性の割合 (2) 区民健診において40歳～65歳のメタボリックシンドローム該当者及び予備軍の女性の割合			
指標	区分	単位	18年度		19年度		20年度	目標値	目標値に対する19年度の達成率%	/			
			実績		計画		計画	22年度					
	活動指標(1)	人	272		500		333	500	500				66.6
	活動指標(2)	人	41		60		5	160	160				3.1
	成果指標(1)	%	16.7		16.3			15.9	15				0.0
成果指標(2)	%	9.3		9.0			8.7	8	0.0				
総事業費・コスト把握	事業費	千円	13,547		16,534		15,003	19,887	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円											
	(内) 委託費	千円	5,408		5,417		9,865	10,990					
	職員数(常勤   非常勤)	人	4.37	0.65	1.64	0.45	6.99	0.63	6.99	0.63	19年度実績は、未集計のため空欄とした。		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	39,592		14,990		63,889	63,889				
		非常勤職員分	千円	1,840		1,247		1,745	1,745				
	総事業費 + +	千円	54,979		32,771		80,637	85,521					
	単位あたりコスト( - )÷	円	202,129		65,542		242,153	171,042					
	財源	受益者負担分	千円	917		942		931	926				
		国・都等からの支出金	千円			5,974		5,974	13,071				
特定財源計 +		千円	917		6,916		6,905	13,997					
差引: 一般財源 -		千円	54,062		25,855		73,732	71,524					
受益者負担比率 ÷	%	1.7		2.9		1.2	1.1						
19年度の主な取組み	内 容				規模	単位	事業費(千円)						
	健康増進施設(委託料等)				1	式	5,680						
	杉並ウエストサイズ物語の普及啓発(サイトの構築・運営委託等)				1	式	5,287						
	生活習慣病予防簡易チェックサービス(委託等)				1	式	2,473						
	ヘルシーメニュー推奨店				1	式	1,563						
	その他 ( )						0						

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 399 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	66.6	活動指標(2)の 19年度達成率%	8.3	19年度予算 執行率%	90.7
ヘルシーメニュー推奨店事業は、平成20年度再構築に向けて事業内容を見直したため、事業規模を縮小した。						

前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	杉並ウエストサイズ物語事業では、従来の取り組み以外に新規にウェブサイト立ち上げ、最も重要な対象である働き盛りが、忙しい生活の中で興味をもって生活改善に取り組もうと意識や意欲を喚起できるようにIT環境を整備した。ヘルシーメニュー推奨店事業も同様に働き盛りにむけた普及の場を拡大し、食環境を充実させる為に事業を抜本的に見直し新たな取り組みへの再構築に向けて事業を整備した。そのため従来の認証に向けた取り組みを一次的に縮小した。					
---	---	--	--	--	--	--

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	メタボリックシンドロームの予防に焦点を絞った総合的な生活習慣病予防対策である杉並ウエストサイズ物語を拡充強化するために、平成13年から始まったヘルシーメニュー推奨店事業は食環境整備の要として再構築し拡充していく。健康増進事業は、事業の必要性やあり方について平成20年度検討する。生活習慣病予防簡易チェックサービス事業は、杉並ウエストサイズ物語サイトの中へ取り込んでいく。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	杉並ウエストサイズ物語事業については、一人ではなかなかできなかった体重減量が、チャレンジャーとして家族や仲間の協力も得られて達成できた。ヘルシーメニュー推奨店の新規取組の説明会では、飲食店から健康情報提供の重要性、区民から新規取組の普及の重要性が挙げられた
	今後の予測	サイトの構築により、若年層の参加者が増えているが、特定健診・特定保健指導が始まり働き盛りの生活習慣改善に向けた仕組みや環境整備がますます需要となってその整備が望まれる

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由 )	理由:若年層からの健康的な生活習慣への気付きや意識付けが、メタボ予防には不可欠でありそのための普及啓発は需要である
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( )	理由または具体的内容:
	成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容:庁内の関係部課との連携や民間企業との協働が必要となる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:腹囲減少チャレンジャーの取り組みは、普及啓発事業であるため、受益者負担はなじまない。
(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容 )	理由または具体的内容:民間のスポーツ施設との協働により実現する余地がある。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 健康づくり推進員や主グループ等により杉並ウエストサイズ物語コーナー等を拠点として健康チェックやイベントの企画従事し参加している。ヘルシーメニュー推奨店事業の普及に向けて飲食店企画のイベント等を実施している。
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )	

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 従来の普及活動を若年層に強化すると共に、区民、団体、事業所、民間企業等との協働や、庁内の関係部課との連携により区内を網羅した環境の整備や仕組みづくりを行うことで、平成24年までにメタボリックシンドロームの予備軍を10%減少する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 連携に向けた検討組織による仕組みづくりが必要であり、時代の変化や多様な区民生活の実態や需要を把握し新たな手法の構築と区民との協働のしくみづくりが必要である。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 ヘルシーメニュー推奨店の委託により、質の充実に向けた内容を強化するには経費が不十分である為。	

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		妊産婦等健康診査				20年度予算コード	001	整理番号	401	枝番号											
担当部課名	杉並保健所健康推進課			コード	150401		昨年度 整理番号	477													
係名	健康推進係			連絡先 電話番号	4524																
上位施策名		No	23		生涯を通じた健康づくりの支援																
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		20年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	2		政策番号	(1)		施策番号			事業コード	4		
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等										
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 妊婦健康診査 = 妊娠届を出した妊婦(区民) 妊産婦歯科健康診査 = 区内在住の妊婦 保健指導票 = 被生活保護世帯及び区民税非課税世帯の妊産婦、乳児で健診を含む保健指導が必要な者				(1) 母子保健法第10条・第13条		(2) 地域保健法第6条・第8条		(3) 杉並区妊婦健康診査実施要綱										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		妊婦健診受診票(出産予定日35歳以上は超音波検査票も)交付。受診票以外の受診費用は出産後に助成。母親学級2日目に妊産婦歯科健診を実施。低所得世帯の妊婦へ指定医療機関で保健指導が受けられる保健指導票を交付。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		妊産婦の疾病を早期に発見することで、妊娠・出産が健康な経過をたどり、母子の健康増進を図ることができる。												
	活動指標名(式)		(1) 妊婦健診受診票交付者数		(2) 妊産婦歯科健康診査受診者数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 妊婦健診受診率(前期受診件数 ÷ 受診票交付者数)		(2) 妊産婦歯科健診受診率(受診人数 ÷ 第1子出生数)										
指標	区分		単位	18年度		19年度		20年度		目標値	目標値に対する19年度の達成率%		/								
				実績		計画		計画		22年度											
	活動指標(1)		件	4,451		4,300		4,463		4,600	4,700									95.0	
	活動指標(2)		件	637		900		644		650	700									92.0	
	成果指標(1)		%	93		100		94		100	100									94.0	
成果指標(2)		%	28		28		28		28	30		93.3									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	67,475		303,236		175,830		286,728		特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)									
	(内) 投資的経費等		千円																		
	(内) 委託費		千円	60,409		60,407		64,542		60,409											
	職員数(常勤   非常勤)		人	1.81	0.05	1.81	0.10	2.84	0.12	2.84	0.20										
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	16,399		16,543		25,958		25,958											
		非常勤職員分	千円	142		277		332		554											
	総事業費 + +		千円	84,016		320,056		202,120		313,240											
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	18,876		74,432		45,288		68,096											
	財源	受益者負担分		千円																	
		国・都等からの支出金		千円																	
特定財源計 +		千円	0		0		0		0												
差引: 一般財源 -		千円	84,016		320,056		202,120		313,240												
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0												
19年度の主な取組み			内 容							規模	単位	事業費(千円)									
			妊婦健康診査費用助成(償還払い)							2,535	人	105,659									
			妊婦健康診査医療機関受診(前期後期の2枚 + 超音波検査)							8,916	件	68,294									
			妊産婦歯科健診							644	人	1,747									
			保健指導票交付							53	件	130									
			その他 ( )									0									

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 401 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	103.8	活動指標(2)の 19年度達成率%	71.6	19年度予算 執行率%	58.0
	妊婦健康診査受診票2枚交付に加えて、平成19年11月から受診費用の助成制度を開始した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	妊婦健康診査受診票2枚交付に加えて、平成19年11月から受診費用の助成制度(最大12回分60,000円)を開始した。平成20年度からは、母子手帳交付時に受診票14枚交付する制度に変更された。					

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	出産年齢の上昇に伴い、平成8年度より出産予定日現在35歳以上の妊婦に対し、超音波検査の項目が追加された。平成20年4月から東京都内市区町村の妊婦健診の公費負担が2回から最低5回～最大14回に改正された。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	妊婦健診費用の助成を増やしてほしい。超音波検査受診票を年齢を問わず交付してほしい。妊娠判定検査費用も助成の対象にしてほしい。妊産婦の歯科健診の機会を増やしてほしい。
	今後の予測	妊婦健診受診票が14枚先渡しされ、受診の促進が図られる。保健指導票は、母子健全育成事業としての健診費用全額助成の需要は今後も変わらないと思われる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 経済的軽減を行い、安心して健診が受けられ、妊娠中の健康増進に貢献している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 医療機関に委託しているため。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 受診票の項目以外の診療費は自己負担になっているため。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 委託料は、都・医師会等との協議により決定されるため。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ )	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 東京都医師会及び契約医療機関に委託して実施している。	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容		

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 妊産婦歯科健診について、母親学級開催日に実施しているため、母親学級に参加する初産の妊婦が主になっている。今後は、母親学級に参加しない妊産婦も受診できる機会をつくる必要がある。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 対象者が大幅に増加するため、保健センター開催日を増やすか医療機関へ委託をする。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 超音波受診票について、年齢制限をせずに、全員に交付する。		





# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 402 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	125.7	活動指標(2)の 19年度達成率%	105.2	19年度予算 執行率%	98.7
		乳幼児健康診査・歯科健診ともに対象者数が増加しているため受診者数も増加している。、経過観察健診も増加傾向にある。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		歯科相談の対象を4歳までとし、その後のフォローも含めて、かかりつけ歯科医をもつことを奨励している。 健診の未受診者に対し、引き続きフォロー体制を強化する。 発達障害児など配慮を要する児に対する支援を関係機関と連携して行っている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	健康診査において、乳幼児の疾患や発達の遅れ等の早期発見に加え、保護者の育児不安の解消や児童虐待の早期発見、予防についても重要な役割となっている。また、平成17年度から発達障害者支援法が施行され、発達障害等の早期発見・療育への支援についても重要な課題である。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	共働き家庭が増え、健診の休日実施の要望がある。 相談内容や、健診への要望が多様化・専門化してきている。					
	今後の予測	少子化・核家族化による母親の育児負担や育児不安が増大している。多様な相談内容に対する支援の充実や児童虐待予防がさらに重要となっている。また、健診等における発達障害の早期発見とその保護者への支援、健診後の療育について関係機関と連携を強化していく必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )		理由:乳幼児の健全な発育・発達に関する問題の早期発見とともに、育児支援、虐待予防を図る上で貢献している。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )		理由または具体的内容: 理由または具体的内容:健診の質の向上と未受診者のフォローの徹底を図る。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )		理由または具体的内容:義務的事業である。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )		理由または具体的内容:医療機関委託分については、東京都・特別区・東京都医師会連合協議会の3者により委託料単価が定められている。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )		協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ )		協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 現在の健診委託を継続する。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 健診の未受診者は虐待のハイリスクであると言われており、これまでも未受診者のフォローを行ってきたが、さらに徹底する。また、発達障害児など配慮を要する児童に対する支援体制についての検討を行う。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 家族形態や保護者の就労状況の多様化により、未受診者の保護者と連絡を取ることが困難なケースが増えているため、関係機関との連携をさらに強化する。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 大幅な事業変更はない予定。		

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害者施設入所者に対する健診等 <small>20年度予算コード</small>				003	整理番号	415	枝番号	
担当部課名	各保健センター		コード	164700		昨年度 整理番号	475			
係名	和泉保健センター業務係		連絡先 電話番号	4508						
上位施策名		No	23		生涯を通じた健康づくりの支援					
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内の障害者施設等の入所者・通所者で他に健康診査の機会のない者		(1) 地域保健法 (2) 障害者施設健康診査実施要領 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		杉並区内における障害者施設等の入所者・通所者の健康の増進及び自己管理を目的として、障害者施設等の施設長又は健康管理責任者の依頼を受けて実施する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		民間の健診機関では対応困難な障害者も多く、健診の機会が確保しにくい障害者の健康管理に資する。			
	活動指標名(式)		(1) 健診受診者数 (2) 受診施設数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 健診受診者数(対前年比) (2) 受診施設数(対前年比)			
区分		単位	18年度		19年度		20年度	目標値	目標値に対する19年度の達成率%	
			実績		計画		計画	22年度		
指標	活動指標(1)		人	720	1,000	725	750	750	96.7	
	活動指標(2)		所	29	35	33	35	35	94.3	
	成果指標(1)		%	84	100	99	100	100	99.3	
	成果指標(2)		%	63	100	88	100	100	87.9	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,860	7,671	6,714	6,239	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円							
	(内) 委託費		千円	993	1,166	0	0			
	職員数(常勤   非常勤)		人	2.20   0.56	1.92   0.56	1.38   0.55	1.29   0.66			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	19,932	17,549	12,613	11,791		
		非常勤職員分		千円	1,585	1,551	1,524	1,828		
	総事業費 + +		千円	28,377	26,771	20,851	19,858			
	単位あたりコスト( - )÷		円	39,413	26,771	28,760	26,477			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0		
		国・都等からの支出金		千円						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	28,377	26,771	20,851	19,858				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)	
		医師及び看護師等の謝礼金							5,135	
		理学用品及び医療用品等							1,320	
		その他 ( )							259	

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 415 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	72.5	活動指標(2)の 19年度達成率%	94.3	19年度予算 執行率%	87.5
		19年度は事業所健診の一環として行っていたが、事業所健診事業の廃止にともない、障害者施設健診単独の事業として整備した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		医療制度改革に伴う平成20年4月からの特定健診・保健指導開始に伴い、小規模事業所の健診・保健指導の実施主体は医療保険者に移行する。そのことを踏まえ検討した結果、小規模事業所健診は平成19年度末を持って終了することとし、障害者施設健診は継続することとした。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	区内の小規模事業所従事者の健康増進を目的とした事業所健診の一環として開始したが、14年度に民間との役割分担を推進する観点から見直しが提案され、現状を検証した結果、国の健診制度の改革開始時期に一致させて、小規模事業所健診は平成19年度末を持って終了した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	民間の健診機関では対応困難なものが多く、健診の機会が確保しにくい状況では必要性は高い。					
	今後の予測	当面、民間医療機関等での受け入れが困難な状況について、現状のまま変化はないと思われる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 中(理由 )	理由： 民間の健診機関では対応困難なものが多く、健診の機会が確保しにくい状況では必要性は高い。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容： 複数の障害を抱えた障害者も数多くおり、現在の保健センターの人員では、現状維持が精一杯である。 理由または具体的内容：					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容： 障害者手帳所持者のため減免制度が適用とされ受益者負担はない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容： 障害の程度によって、介助者が必要になるなど、コストも手間も必要で下げる余地はない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方：		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 血液検査については、今後も委託を継続する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 小規模事業所健診の終了により、保健センターにおける検査件数の減少が見込まれ、その結果、健康相談・障害者施設健診者一人当たりにかかる検査コストの上昇が予測される。そのため、レントゲン装置などの保健センター設置の検査設備について、従来どおり5所の保健センター均一に設置し、均一な区民サービスを維持する必要があるか検討し、検査設備等の集約化及び保健センター別の役割分担が可能であるか検討していく。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 保健センターの検査設備の縮小により、利便性の低下が懸念される。保健センター間の効果的な役割分担などにより利便性が低下しないようにする必要がある。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 一般の医療機関では、健診が受けづらい状況が続く限り、障害者施設健診は継続して実施する必要がある。	